



一般質問

第2回定例会の主な質問内容は次のとおりです。
なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

市民連合



西岡 誠也議員

質問1 コミュニティ交通の充実について
郵便局、銀行、病院、コンビニ、スーパーや既存のバス停を通るコミュニティ交通の整備と運転免許の自主返納推進の取り組みを。

答弁
公共交通ランドデザイン（※1）改定の中で移動手段確保の観点で検討する。運転免許自主返納制度の周知や返納しやすい環境づくりに取り組む。

質問2 児童虐待対策強化について
複雑かつ社会問題化している児童虐待対策として、児童相談所の体制強化や専門職の配置、通告の呼びかけを。

答弁
職員の増員、社会福祉職の配置による専門性強化、弁護士資格を有する職員による法的支援を行っており、今後も体制強化を検討する。



公明党



井本 正広議員

質問1 子どもたちの安全対策について
暴走する車から子どもたちの命を守るためのあらゆる方策が必要だが、これまでの取り組みと今後の対策は？

答弁
これまで実情にあわせ対応しており、今後も関係機関と連携し取り組む。街頭指導や交通安全意識を高める啓発に取り組む。

質問2 食品ロス削減推進法について
食品ロス削減推進法の成立を受け、本市の今後の取り組み、特にフードバンク活動への支援に関する取り組みは？

答弁
食品ロス削減推進計画策定の検討を進めるとともに、フードバンク活動の支援については、早急に関係課と協議し支援策の検討を行う。



令和自民



田中 敦朗議員

質問1 本市の観光振興、インバウンド（※2）について
30年後に見込まれる生産年齢人口7万人減に向け、高い目標設定と民間投資を呼び込む計画を早期に明示すべき。

答弁
インバウンド増に向けた新たな目標については、今後の宿泊定員数の増加や熊本空港民営化等の状況変化を勘案し、早期に設定する。



質問2 ふるさと納税について
農産物や特産品を活用した制度拡大を早くすべき。税収は子育て等、国家全体に寄与するよう限定使用しては？

答弁
返礼品について、今年度中に拡充することを目指している。寄附金の使途については、事業の選択肢を増やす等の検討を行う。

自民党



光永 邦保議員

質問1 議会新体制のスタートにおける議論の進め方
二元代表制という地方政治の仕組みを踏まえ、今後の議会との議論の進め方について、市長の考えを問う。

答弁
本市の課題を市民に対し丁寧に説明し、聴取した意見を議会にも提示し、慎重かつスピーディーに建設的な議論を進めていく。

質問2 いのちの大切さをどう教えるのか
悲惨な事件が続く中、子どもたち自身にいのちの大切さを考えさせるため、どのような教育を行っているのか。

答弁
道徳科での学習や体験活動、専門家による講演会等、教育活動全体を通して、いのちを大切に作る心の教育の充実に努めている。



市民連合



田上 辰也議員

質問1 全国初でバス路線にEV（電気）バスの導入を
普及型EVバスの開発と実証は熊本が発祥の地。その成果をアピールするべく、全国で最初に運行路線への導入を。

答弁
熊本発EVバスについて、熊本城及び桜町再開発地区を周遊する「熊本城周遊バス・しろめぐりん」に1台導入を予定している。

質問2 加瀬川の画図塘と木部塘にちやりんぼみち（※3）を
加瀬川の画図塘と木部塘は自転車と歩行者の通行に危険。堤防内にある管理用道路を「ちやりんぼみち」に整備を。

答弁
昨年度、現地踏査や関係機関と意見交換を行い、今後、自転車活用推進計画を策定する中で、河川管理者である国とも議論したい。



公明党



吉田 健一議員

質問1 本市のスポーツに対する今後の支援について
本市のプロスポーツをはじめ、アマチュアスポーツ、障がい児者スポーツへの支援の取り組みは。

答弁
活動場所の優先確保や機会の提供等に取り組んでおり、多くの方がスポーツに親しむことのできる環境づくりに努めている。

質問2 「奨学金返済支援制度」の導入を
自治体と地元企業が連携し返済額の一部を補助する、「奨学金返済支援制度」を本市でも導入できないか。

答弁
県の返済支援制度を、本市も周知・広報に努めており、今後も多くの学生の応募に繋がるよう県市連携し、若者の地元就職を促す。



自民党



日隈 忍議員

質問1 がん検診、生活習慣病健診の充実を
がん、生活習慣病の早期発見・早期治療のため、40歳の節目年齢者のがん検診、特定健診の無料化の実現を。

答弁
がん・生活習慣病の早期発見・早期治療に向け、効果的な受診勧奨や健康ポイント事業等を行い、受診率向上に取り組む。

質問2 新熊本市市民病院の役割と方向性
民間医療機関の対応が困難な周産期医療、小児医療を充実させることが必要と考えるが、新病院の役割、方向性は。

答弁
今まで担ってきた小児・周産期母子医療等の政策医療に引き続き取り組むとともに、地域の基幹病院としての役割を果たしていく。



自民党



齊藤 博議員

質問1 熊本市市民病院の財務改善について
経営改善に向けた事業計画を立案し、営業努力を惜まず、財務改善に向けた取り組みを早急に実施すべき。

答弁
「熊本市市民病院再建基本計画」に基づき、患者数の増加等の収入増や後発医薬品の使用促進等の経費抑制を図り、経営改善に取り組む。

質問2 動植物園の収支改善について
人がさらに集う仕掛けづくりを積極的に進める等、収支改善に向けた取り組みを紹介してほしい。

答弁
入園料等の見直しによる歳入確保や、長期的な維持管理経費の縮減、さらには、新たな遊具の導入等、魅力向上策についても検討する。



公共交通ランドデザイン（※1）…本市の公共交通体系の将来像。過度にマイカーに依存しない、誰もが気軽におでかけできるまちの実現に向け、基幹公共交通軸、バス路線網、コミュニティ交通により公共交通ネットワークを形成するイメージを示している。
インバウンド（※2）…元々は「外から中に入り込む」という意味であり、日本においては一般的に「外国人の訪日旅行」の意味で使われている。対義語はアウトバウンド（outbound）で日本からの海外旅行者のことをいう。
ちやりんぼみち（※3）…白川沿いに整備している自転車と歩行者の専用道路を「白川ちやりんぼみち」の愛称で呼んでいる。この「ちやりんぼみち」は、自転車を表す「ちやり」と「さんぼみち」を合わせた造語で、平成27年度に愛称募集を行い決定した。